

ゲストハウスでのまち歩きマップ配布によるご縁のおすそわけ

— 地域とのつながりを生み出す情報発信の実践 —

1. 研究テーマについて

私が働くゲストハウスSAMMIE’Sでは、地域情報の伝達がスタッフに依存しており、福井の魅力を十分に伝えきれていない課題があった。本活動では、まち歩きマップを制作・配布することで、宿泊者と地域との繋がりを生み出すことを目的とした。

（1）提携先や対象地域等の概要

提携先は福井駅徒歩5分のゲストハウスSAMMIE’Sであり、周辺の徒歩圏内エリアを対象地域として活動を行った。

2. 調査活動の経過と概要

（1）調査手法

宿泊客への口頭アンケートおよびGoogle Formによるアンケート調査、店舗取材、マップ制作・配布

（2）活動スケジュール

2年10月～3年5月：第一弾マップの作成・店舗調査や取材
3年前期：第一弾マップ配布・口頭アンケートの実施→改善点の把握
夏季休暇～11月：第二弾マップの制作・内容検討
12月：許可取得・修正→マップの配布開始
1月：アンケート調査・継承体制の整備

3. 調査活動の結果

（1）第一弾・第二弾マップ作成・配布

第一弾マップを試作・配布し利用者の反応を収集した。その結果を踏まえ、第二弾マップでは掲載内容やデザインを改善し、日本語版・英語版を制作した。

（2）課題と学び

運用面では掲載許可の取得や情報更新の負担が課題となった。一方で、地元目線の情報や見やすいデザインが高く評価され、マップをきっかけに街歩きを楽しむ利用者も見られた。オーナーからも案内の安定化やゲスト満足度向上につながったとの評価を得た。

4. 考察と提案

（1）活動成果のまとめと評価

スタッフ視点の情報発信は、ゲストの行動促進や地域との接点づくりに有効であり、制作データや運用情報の共有により継続的活用の体制も整備できた。

（2）今後の予定

口頭アンケートを継続し、利用者の声を反映しながら内容改善を重ね、他スタッフによる更新を通じた持続的運用を目指す。

↓マップのデザイン

